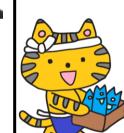
お買



TEL X (06)6382 L (06)6383 吹田市川園町20 main@suita-minsyou.com www.suita-minsyou.com 6382 - 221 190 2

2025年新年のご挨拶

会長 塚本

さて昨年 会員の皆様、 ておめでとうございます。 は能登半島地震にはじま 読者の皆様、 新年明

り異常気象による大雨や、 夏には南

す。まずはインボイスの廃止と消費税を5%にもどせの共に業者運動を通して世の中を良くしてゆかねばと思いまなりわいと、生活を守り、要求を実現するたぁし」な中、裏金にまみオナリニ を圧迫しており我々庶民には大変な年になりました。切さを痛感しました。また燃料費の高騰と物価も高く海トラフ大地震を連想させるものもあり、日頃の備え も高く生活 え そん \mathcal{O}



最近の相談

一般の方からの相談でした。この**また国保料滞納で預金差押えの相談**

出していたたるはずです。 保険料が した。どうすればよいのかと相談すると、全額納付が条件を訴えると職員は再度の差し押さえもあり得ると明言しま を求めて窓口に相談しましたが拒絶。今後の差押えの不安した。分納継続中の差押えに納得できなかったため、返還金の全額が差し押さえられ、滞納保険料に充当されていま支給される高年齢求職者給付金が振り込まれた数日後に預 と言われたとのことでした。 にしていました。 いましたが、最近失業し窓口相談で分納金額を5険料が20万円ほどあり、毎月1万5千円で分納を一般の方からの相談でした。この方は生活が厳しく - 全額を たたため、 幸いなことに差押え前に当面 |納めることができないことは吹田市||のことでした。財産調査を行っていればよいのかと相談すると、全額納 切迫した状況ではありませんでし ところが65 毎月1万5千円で分納を続け 歳以上の雇用保険加入 の生活費は引き るため £ 、者に

国民健康保険 特別療養費

さ 保険証の有効期限まで使用できるため大切に保管してくだ現在所有している保険証は来年の12月1日もしくはその12月2日に健康保険証の新規発行が停止されました。

れたなどがあれば、早急にごとが分かります。もし特別差押えだけでなく保険証、別 への回答で2023年3月末に発行件数がゼコどっこ資あります。吹田では毎年行っている大阪社保協への質問書額(10割)負担となる特別療養費に切り替える自治体も行している自治体がある一方、医療機関の窓口で医療費全日以降は短期保険証を所持していた人には資格確認書を発日以降は短期保険証を所持していた人には資格確認書を発 格証明書が2024年4月末では50件となっていへの回答で2023年3月末に発行件数がゼロだあります。吹田では毎年行っている大阪社保協への や資格証明書の新規発行も停止となっています また保険証の新規発行停止に伴い、 早急にご相談ください。もし特別療養費への切り替えを通告さい険証、保険給付への制裁も強めている ってハます。 2月2これまで短期保険証 12 月 2 、ます。

日です。 20

日です。

各法定調書の提出は提出期附付期限は、通常1月10日、

1 月 10 日、

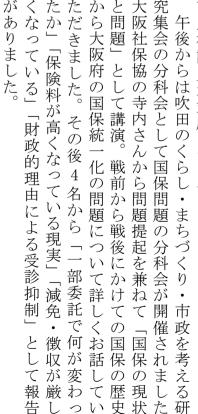
限は

限は 1 月 30 特例納付は

年末調整後の

「社会保障としての国民健康保なんでも相談会と吹田市政研第4分科会会 の国民健康保険」

反貧困懇談会の参加団体の 税金について相談が寄せら 税金について相談が寄せら があました。相談には北大阪 があました。相談には北大阪 があました。相談があせられ、近 し応援福袋配布会と吹田勤し応援福袋配布会と吹田勤し応援福袋配布会と吹田勤した。 とはたくらし応援福袋は配布 とは、日用品を詰め合わ にてなんでも相談が開 のら1時間も経たずに用意 がら1時間も経たずに用意 がら1時間も経たずに用意 市民相談員が対応しました。 l して 前のさんくす広場に た。 11 なんでも相談にはいた8個が配布され くす広場にてくらい日にJR吹田駅 個が配布されま 10





年末年始の事務所の休業

ご不便をおかけいたしますがよろしくお願止させていただきます。再開は1月6日12月28日(土)~1月5日(日)までも まで事務所業務 からとなります。事務所業務を休 します

年末調整実務会 吹田民商会館 1

1月1日(木) 1914 会 時 時 場 限 0000 は 分分 1月9 **金** 19 時 00 分

新しいお店 教えてくたさい。 コード)に画像とおおよその場所を送信 撮影して民商の公式LINE(下のQR 民商では毎月仲間を増やす行動を行っ 大いお店 教えてくたさし



物は の市場商店街で lacktriangle商工業者 の繁栄は市民とともに